

特集:

- ・平成23年度通常総会が行われました
- ・基調講演
「介護福祉士をめぐる政策と実際をめぐる現状と課題」
- ・記念講演
「地域で暮らすこと・介護福祉士に望むこと」

最新ニュース:

災害ボランティア体験記①

「感じる・考える」
研修報告・研修案内
はれときどきにじ
「工夫してます☆」
事務局だより

平成23年度 通常総会が行われました

5月29日(日)、一般社団法人 千葉県介護福祉士会通常総会・記念式典が行われました。

始めに、3月11日の東日本大震災に伴い、被災された方々に対して黙祷を捧げました。

以下は、山本会長の挨拶(抜粋)です。

『3月11日の東日本大震災において、私達介護福祉士に何ができるかということを考えさせられる日々が続いています。

当初、救護・医療が必要であると言われていましたが、日頃私達が行っている生活支援こそが今、必要であると感じています。その方の環境や心理面を支える必要があります。これが私達の専門性であり、勉強していかねばならないものだと思います……



現在、総務委員会を中心に、災害ボランティア活動を開始しています。今後、詳しくご説明していく機会を設けていこうと思っています。』

総会審議

当日は出席者 65名、委任状 341名、正会員(会費を納入し、決議の資格のある者)651名により、総会が成立したことを司会より報告されました。

平成22年度事業報告(第1号議案)では、3月11日の大震災により、延期・中止になった研修について報告がありました。また、22年度決算報告(第2号議案)では、収支計算書の書式が変更になったため、会計より具体的な説明がありました。会計監査報告を受け、どちらの議案も賛成多数により承認されました。

平成23年度事業計画書<案>(第4号議案)・23年度収支予算書<案>(第5号議案)では、様々な活動予定の中で、活動終了や縮小により収入源が予想されるもの、また、実際には800名程いる会員のうち、100名以上の

会費未納の方がいるとの報告がありました。

第3号・4号議案とも、賛成多数により承認されました。

出席者の皆様のご協力で、全ての審議が円滑に終了しました。

閉会挨拶として渡邊副会長より、「今日、ここに出席されている方は、全会員の中でかなり少ない。しかし、今日一日を終わった時点で評価してほしい。総会は意味があるんだということを他の会員に伝えてほしい」との言葉がありました。

昨年度・本年度の活動内容を確認していただき、積極的な参加をお願いしたいと思います。

平成23年度 社団法人日本介護福祉士会通常総会が開かれました。

通常総会は5月28日(土)、株式会社損害保険ジャパン本社ビルにて行われました。

東日本大震災についての報告では、これまでに義援金は600万円、ボランティアは福島県や宮城県へ延べ400人を派遣したとのこと。石橋会長は、『今後も被災者の方々をはじめ介護が必要な方々に対して、介護福祉士の専門性を活かし、早期にもとの生活に戻るよう介護・生活支援を行い、介護福祉士また職能団体としての役割を果たしていきたい』と挨拶されています。

基調講演 「介護福祉士をめぐる政策と実際をめぐる現状と課題」

淑徳短期大学社会福祉学科長 教授 亀山 幸吉氏



いつも新しい情報を発信
して下さる亀山 幸吉氏

○東日本震災をめぐる

千葉県内では、旭の飯岡辺りが大きな被害があり、13名が亡くなった。

慣れた環境で落ち着く認知症の方が、急な環境変化により悪化してしまった。

小名浜の施設(ときわ苑)の方が鴨川へ避難してきているが、新たな施設を作らなければ帰れない現状がある。

個々の利用者の特徴による行動(震災にあった場合の)についてのプランニングが整備されていない→どう動くをするのか(混乱する・暴れるなど)、職員がそれに合わせてどう動くをするのかを検討する必要がある。

災害ケア福祉士を千葉から！

○国政の動向における実践キャリア・アップの意味するもの

ベテランの独断(判断)でしてしまう行動は、ある程度の経験に基づいての判断をしていると思うが、本人の意思なりを考えての対応なのか→経験主義でかなり判断をしている現状

10年くらいのキャリアを持っている人が、目標を失っているのではないか。

自分の力量に合わせて、次のステップ、キャリアを求める必要があるのではないか。

<職業能力評価>

レベル1:ヘルパー2級レベル

レベル2・3・4:介護福祉士レベル

・指示がなければ動けない(初心者レベル)

・指示がなくても自分の判断で動ける

・ある程度チームも任せて、対応できる

※資格優先ではなくて、何ができるか

○介護福祉政策動向と実践課題

家族や施設での医療行為

医行為に対して、介護福祉士が専門性の一つとして獲得していきべきなのか、大きなテーマである。

ドイツでは、医療をメインとした介護職を養成しているが、日本は福祉をメインとしてきた。

介護資質そのものが今後どうなっていくのか検討されていく。

○介護福祉士の上に「認定介護福祉士」の設定は今後どうなる？

介護福祉士は、オールラウンドでできる人を評価して認定されるが、その上にハイレベルのところで、指導力(スーパーバイザー的思考)のある人を置こうというもの。

障害者ケア専門士を千葉から養成して欲しい。

記念講演「地域で暮らすこと・介護福祉士に望むこと」

相談支援アドバイザー・生涯学習指導者 倉田 知典氏

今日は国家資格を持たれている介護福祉士さんへのお話です。

私は今、週3回入浴介助を受けています。その3回とも事業所が違います。なぜかと言いますと、普通のヘルパーさんは女性が多いです。でも、私は男です。同性の方がいいため、やっとの思いで3つの事業所を見つけました。男性がいるかどうかというまでは、一つ一つ電話しないとわからないですよ。1週間に1度はお受けできますよ、という事業所が多かったので、3事業所になっている現状です。

今から21年前、高校を卒業した頃はデイサービスなどは無かったです。だから、全介助の自分に行くところはなかった。親は何とか福祉の施設に入れようとしていた。私はそれには賛成でした。でも、入るところがなかったの、自分でサークルを作りました。バリアフリーな活動に発展していきました。その中で、当時はまだ福祉士はいない時代だったので、ボランティ



倉田氏の話題に終始笑いがおこりました。

との方たちと対等な立場でいることが長かったので、一人の人間として見てしまったのです。「お願いだからそういうことは言わないでください」と言いました。業務としては正しいですが、支援の中であれをやってください・これをやってくださいと言っていました。

「僕はこういう環境で生きてきました。利用者と職員との関係より、人間としての関係でいましょう」

段々と理解していったいただきました。何をかという、私の生きてきた環境の中で、確かに業務という支援は大切です。お願いしています。だけど、人として付き合うってことを前提として、手段としてやっていってください。

○今、福祉に関心や興味のある方は福祉の養成校に行きますよね。障害者・高齢者に触れ合いたい、人の役に立ちたいという方が多いと思います。でも、皆がみんな、そういう気持ちで資格を持っていくのは、私は賛成ではありません。どうしてだと思いますか？

会員：対等であるということですよ。障害者がそこにいれば、そばにいる人が手伝えれば資格なんて必要ない。いずれ自分もそうなると思えば、より良い社会にしなればいけないよね、ということなのではないですか？

会長：人との関わりは、仕事ではない。介護福祉士という入口に立つ人を育てようとしていますが、仕事として教えるのではなく、その方が求めているものを支えるということなのでは

ないでしょうか？

アが中心で、とても積極的に活動していただきました。

20年間触れ合った人達との中で、社会の常識と福祉の常識を知ることができました。

○ヘルパーさんに初めて介護を受けた時、「今日の介助はいかがでしたか？」と聞かれました。私は答えられなかった。皆さんだったら、何と答えますか？

会員：改めて聞かれると困りますね。比較対象が自分にはないので、「うん、よかったよ」と言うしかないと思います。

亀山氏：ヘルパーさんに直接言った方がいい場合は率直に言いますが、ダメージを受けそうな場合はちょっと考えますね。

会員：率直に言っちゃいます。「ここが嫌だった」「ここが良かった」とか。

私は何と答えたかと言いますと、福祉の専門職

若干違うんです。身体介護で仲良くなった方と、時間外で利害関係はないんですよ。施設に入っていれば、時間外のA職員という人と食事に行ったりとかは難しいんですけど。事業所では・・・「時間外で連れて行ってあげたいんだけど、法律が邪魔をして・・・」ということ、耳が痛いほど聞いています。

福祉でできることとできないことがあると思うんですよ。福祉とは「幸せ」です。今の制度内で幸せになれるんですか？という、最低限の命の保障と生活の保障は図れるけど、人間としての生き方がなかなかできないという環境を考えると、福祉の充実を考えれば考えるほど、人材のことが気になります。仕事として障害者に触れ合えればいいと仕事と切り離している人が多いです。今福祉はすごい充実してきたけれど、外との交流、「仕事」としての交流はあるけれど、人としての交流はなくなってきているのではないかと思います。

若い介護福祉の学生さんに伝えたいことであるんですが、高齢者社会になって、今若い人たちに伝えていかないと、福祉の本当の考え方がねじれてしまうのはもったいないと思います。難しい時期に来ているのではないかと私は考えます。

最後に、色々会がありますが、障害者とかの参加がないんですね。ぜひ、千葉県から障害者や高齢者を入れる。意識改革を健常者側が行うのではなく、障害者と一緒に行っていく。それで世の中が変わっていくのではないのかなと思っています。

災害ボランティア体験記①

感じる・考える



3月11日の東日本大震災により被害を受けた地域に、数多くの会員の皆さんがボランティアとして派遣されています。

今号より、千葉ブロックの小松奈津恵さんに「災害ボランティア体験記」として、現地に入って感じた事やお伝えしたい事などを語っていただくことになりました。

現地に入らなければ分からなかった事もたくさんあると思います。

ぜひ、一緒に感じ・考えてみてください。

私は、5月24日(火)から、3泊4日の短い期間ですが、宮城県亶理郡亶理町にある緊急福祉避難所において、生活支援ボランティアを行ってきましたので、報告させていただきます。特に、在宅認知症高齢者の方が、環境変化により、従来の生活が出来なくなり、避難所生活で症状が悪化した様子に胸が痛みました。

福祉避難所は、一般の避難所では生活が困難、疲労やストレス、持病の悪化等が懸念される高齢者や障害者の方の避難所です。そして、できるだけ早く自宅での生活・仮設住宅での生活に戻るよう支援を行う所です。行政と、宮城県介護福祉士会が連携し、宮城県介護福祉士会が運営を任されていました。

3泊4日のシフトを組み、日中・夜間帯を含めての生活支援を行い、日中には地域ボランティアや専門機関も連携していました。私は、福岡県介護福祉士会の方と2人で担当となりました。



千葉ブロック 小松奈津恵さん

事例で紹介します。

入居者Iさん(仮名)は、80歳代半ば女性、認知症、介護者は息子さん50歳代半ば。

福祉避難所でも認知症の症状の悪化が顕著であり、混乱、徘徊、失禁、大声を出す等があり、家族介護者もストレスがある等の事を申し送りノートで確認しました。

職能団体のボランティアとして、夜間帯も含めたシフトを組み、見守りを行い、落ち着いた場合は抑えるのではなく、本人に寄り添うケアの提供の実施を行っていました。

私が担当した期間は2日間でした。翌日には、精神科病院系列の老健入所が決定し、移動することになっていました。

この2日間の様子ですが、Iさんは不眠の3日目でした。役割として、入居者全員分のお茶を入れていただく事にし、時間に関係なくお願いをしていました。そのお陰で、入居者全員の水分補給の確保ができました。また、Iさんを中心に、入居者全員6世帯12人が、コミュニティケアを実践しているかのように感じました。

例えば、夜9時を過ぎたら、雑音を出さないようにする入居者全員の心遣い、もちろん、私が

担当した期間でも、大声を出す等の行動はありましたが、少しでも安心して頂けるように、ゆったりとした雰囲気を感じ、寝る前にドライシャンプーをするなどしました。

さすが、「その人らしさを考える」職能団体であると思いました。

施設入所後の事はわかりかねますが、軽度の認知症があっても、住み慣れた地域で生活できていた方です。このように長引く避難所生活の時にこそ、認知症の特性を理解した上での支援の必要性を痛感しました。

住む家が変わるだけでも悪化する事もある認知症相当なストレスがあったと想像できます。皆さんはどう感じましたか”

研修報告

○4月30日(土)

「講師のためのフォローアップ研修」

「講師養成研修(実践編)」

・とてもわかりやすく理解できましたという意見が多く聞かれた研修でした。

・三人三様の「シラバスの作り方」「授業ノート(授業案)の作り方」を学ぶことができて良かったとの声が聞かれました。

・グループワークをすることでいろいろな意見が出たようで、白熱した意見交換が見られました。

(大沼 記)

研修案内

○東葛ブロック研修会

日 時:6月18日(土) 13:30～

テーマ:コミュニケーションを大切にした生活支援援助」

講 師:南 静代氏

会 場:千葉県福祉ふれあいプラザ
(けやきプラザ) 7階介護実習室

参加費:会員・準会員 500円

一般 1,000円

平成24年度の介護保険法改定に向けて、様々な提言がなされている今日、確かな情報と準備が必要です。活動を通じて情報を発信していきたいと思っています。
(ブロック長・堀越)

○君津ブロック研修会

日 時:7月9日(土) 8:30～17:00

テーマ:ポジティブ・シンキングで元気になる

講 師:村越 洋子氏

会 場:富浦元気クラブ

定 員:30名程度

介護現場で日々、悩んでいらっしゃる会員の皆様に元気にしようと、村越洋子先生をお迎えしての研修を企画しました。

研修場所を君津より富浦に移し、新しく君津ブロックのお仲間になった会員さんとの交流会も予定しています。

是非ご参加ください。(ブロック長・谷中)

○第1回 千葉県介護福祉士会・在宅部会・施設部会
合同研修会

日 時:7月10日(日)

10:00～16:00(受付9:30)

テーマ:「認知症ケアとセンター方式 Part I」

講 師:村越 洋子氏

会 場:千葉県社会福祉センター 4階

参加費:会員・準会員 500円

一般 3,000円

定 員:80名

今回の研修会は、今年3月13日に開催予定でしたが、地震により社会福祉センターが使用中止になり延期となった研修会です。参加希望された皆様にはご連絡できたものの、大変ご迷惑をおかけしました。

次回 Part II は、9月11日(日)に予定しております。毎回アンケートで希望されるテーマの一番多い「認知症」ですので、Part I・II ともにご参加ください。

お待ちしております。

○ケアマネジャー支援委員会研修会

～ケアマネジャーを目指している皆様へ～

下記の日程により受験対策講座を開催いたします。

第1回 7月31日(日) 9:30～16:00

「介護保険制度・介護支援分野」

第2回 8月28日(日) 9:30～16:00

「保健医療分野」

第3回 9月25日(日) 模擬試験 10:00開始

13:00より問題解説をいたします。

～既にケアマネジャーとして活躍されている皆様へ～

「介護支援専門員実務者研修」を下記により開催いたします。

8月21日(日)

講師に訪問看護師を予定しています。

内容が決定次第、改めてご案内いたします。

○事業委員会研修会

7月24日(日) 10:00~15:45

「講師養成研修(実践編)」

定員:30名

9月17日(土)・18日(日) 9:00~18:00

「介護技術講習指導者養成研修」

定員:40名

○介護福祉士受験対策委員会研修会

「交流会と介護福祉士国家試験模擬試験」

6月12日(日) 13:00~17:00 介護福祉士受験対策・交流会

8月28日(日) 10:00~16:00 中央法規 模擬試験 基礎編

9月25日(日) 10:00~16:00 福祉カレッジ 模擬試験 基礎編

10月29日(土) 10:00~16:00 中央法規 模擬試験 実力編

11月13日(日) 10:00~16:00 福祉カレッジ 模擬試験 応用編

12月11日(日) 10:00~16:00 全国一斉 模擬試験

※会場はいずれも千葉県社会福祉センター 5階

平成21年4月から、新カリキュラムの下で介護福祉士養成がスタートしています。

平成24年1月の介護福祉士国家試験より、新カリキュラムに対応した出題基準に基づく試験内容となることをお知らせ致します。

○千葉ブロック 第2回研修会

日時:9月10日(土) 10:00~16:00

テーマ:「腰痛を防ぐラクラク動作介助」

「介護場面に生かす動作介助技術」

講師:・特定非営利活動法人

動作介助研究所 事務局長

・理学療法士 佐藤 幸恵氏

会場:千葉県社会福祉センター 5階

定員:40名

※福祉人材確保・定着対策事業の一環として開催しています。

現在の介護職向けにキャリアアップ研修を実施し、介護の現場で働く全ての人々が誇りと自信を持ち、長く働き続けていけるよう支援することが目的です。

○東部ブロック「介護の日」

日時:11月23日(水) 9:00~14:00

内容:①介護の日及び関連事業のPR

②介護に関するアンケート

③介護相談

④高齢者及び介護者に負担をかけない介護方法の実演

⑤福祉用具の展示・実演等

介護福祉士はご存知のように、「介護」という仕事に社会的な評価が高まらず、職業として選択するものが激減しています。しかし、介護・福祉は私達の生活に欠かすことのできない存在であり、社会に認知されることが必要です。そこで、実際に介護を支えるものとして、その仕事などを各地域で多くの方にご案内し、広く知っていただく機会とすることを目的としています。

事業委員会が2年の歳月をかけて作り上げた「快互(かいご)の教本」がついに完成しました。介護の基本を、可愛いイラストとわかりやすい文章で説明しています。

会員頒布価格 1冊 1,000円(1会員2冊まで)

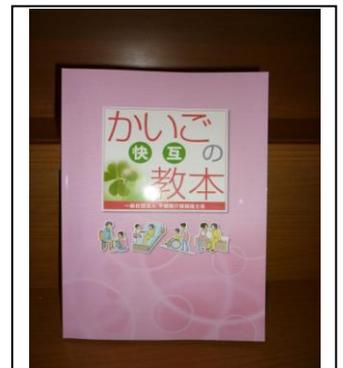
※できるだけ多くの会員にご利用いただきたいので、

3冊目以降は 1冊 1,300円となります。

会員以外の方 1冊 1,300円(何冊でも)

送付等のご希望も承りますが、送料等は各自負担となります。

詳しくは、事務局まで。



はれときどきにじ 「工夫してます☆」

23年度のこのコーナーは、事業所や施設で工夫している『事』『物』『者』について紹介していきます。様々な取り組みや工夫を、是非ご覧ください。

市川市・介護老人保健施設

当施設では昨年、介護・看護職員を9つのチームに分け、それぞれが注目する事柄についての研究発表を行いました。

認知症やカラーセラピーなど、多様なテーマで研究が行われました。

その中で、私たちのチームは『福祉用具』に注目し、利用者の状態に合わせた福祉用具を制作してみようということになりました。

① 安心背もたれ

全介助の方の移乗介助をする際、端座位が取れないために「靴を

履く」動作ができないという問題がありました。

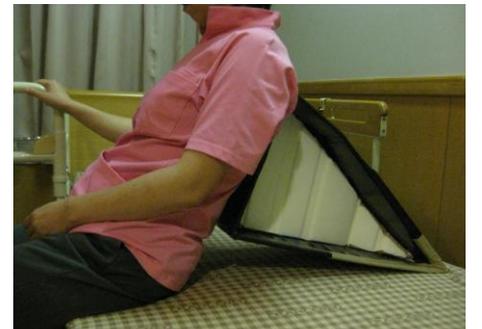
靴は移乗時の足の保護はもちろん、床に足をついて「立つ」ことやこれから「起きる」ということを意識するために大変重要なアイテムです。実際に「立つ」ことが出来ない方でも、足に力を入れる気にさせることができます。

材料は、段ボール・バスマット・ノンスリップシート（滑り止めシート）・ガムテープ・ビニール紐です。

元建設関係の職員と、レク係担当（工作が得意？）の職員2名で、設計から制作までを担当しました。



安心背もたれ



かなり力を入れて寄りかかっています。

頑丈な分、少し重たいですが、まだ一度も壊れていません。

② らくだシート

車椅子に乗車した際、自力ではなかなか良い位置に座りなおすことができない方や、体型の関係で2人介助で座りなおしの介助をする方、また、皮膚状態が悪く、摩擦や圧迫を極力避けたい方用に制作しました。

上記の方々は、大抵、上下肢ともに力が弱く（又は麻痺がある）、介護者の少しの力でも皮下出血ができてしまうような皮膚状態です。それまでは、致し方なくズボンのゴムを持ち、膝裏を抱えての座りなおしをしていました。

材料は、薄っぺらい長座布団（シーズンを過ぎると500円位で買えます）・マジックテープです。

長座布団は、表側のつるつるした面をワザと裏（車椅子の座面側）にしています。臀部側は適度に柔らかく、本来の表面に比べて滑りにくくなっています。

車椅子にセットして、利用者の前傾の



らくだシート（楽だ・らくだ色のシート）



介助をしてからシートを斜め後方に引っ張ると、シートごと身体が後ろに下がるという仕組みです。

写真は紐で結わくタイプですが、座りなおした後に、背もたれ後部にマジックテープでシートを固定します。

利用者からも、大変ご好評をいただいています。

③ うがいの友

市販もされているようですが、取っ手付きのガーグルベイスンです。

口腔ケアの際、前傾が取れない方にベイスンを使用していただきますが、握力がなかったり関節の変形などで、ベイスンが掴めない場合があります。

フック型の取っ手を作成し、手全体でベイスンを支えるようにしました。

材料は、ハンガー・ノンスリップシート・荷物用の取っ手（スーパーなどに置いてある物）・針金等です。

こちらは針金を曲げたり、案を出すのに、職員の家族にまでご協力をいただきました。

現在は、対象者全員が自力で口腔ケアをすることができており、棚の中で次の方を待っています。

利用者に合った用具を考える時、「この人は普段、どういう動作をしているのか」をじっくり観察することが必要であることを学びました。

理事会報告

一般社団法人

千葉県介護福祉士会

〒260-0026

千葉市中央区千葉港 4-3
千葉県社会福祉センター
3階

TEL:

043-248-1451

FAX:

043-248-1515

E-MAIL:

Kai5nji@poem.ocn.ne.jp

編集: 広報委員会・広報委員長

皆様からのご意見・ご質問
お待ちしております。

何でもお知らせ下さい!!

23年度

第1回 23年4月3日(日)

出席者 22名 委任状 4名

(内容)

ファーストステップ研修について

災害関係について

通常総会について

第2回 23年4月23日(日)

出席者 14名 委任状 10名

(内容)

通常総会について

災害対策

各委員会から提案内容審議

第3回 23年5月15日(日)

出席者 17名 委任状 9名

(内容)

業務執行の流れについて

通常総会について

社会福祉センターの避難誘導について

日本介護福祉士会のテキスト販売について

各委員会から提案内容審議

会員数(6月7日現在 786名)

東葛ブロック 163名

千葉ブロック 158名

君津ブロック 99名

東部ブロック 94名

南部ブロック 73名

北総ブロック 199名

準会員 4名

新会員紹介(正会員で同意された方のみ 敬称略、順不同)

鈴木 真喜枝(東葛) 佐藤 眞弓(北総) 寒川 律子(東葛) 丹羽 理恵子(東葛)

山本 美代子(北総) 橘 みほ子(東葛) 及川 朋三(君津) 及川 麻奈美(君津)

清水 紀子(千葉) 根本 園美(君津) 佐々木 洋子(北総) 八須 裕一郎(北総)

白尻 清美(千葉) 中村 幸雄(北総) 石井 真知子(北総) 鈴木 真由美(北総)

佐藤 可奈(東葛) 市原 由香梨(千葉) 長船 恵美子(北総) 光野 泰明(東葛)

笥田 照子(東葛) 並河 妙子(千葉) 坂口 功(千葉) 高倉 直人(東葛)

青柳 千恵(東部) 大熊 宏紀(北総) 塩谷 和茂(君津) 大島 岳史(東葛)

河津 美智子(北総) 菊間 由美(千葉) 北原 久美子(北総) 蜂谷 厚子(北総)

金野 民雄(千葉)

※()内はブロック名

事務局だより

※事務局からのお願い

・会費は納入されているのに、申し込み用紙が届いていない方がいます。

・登録番号が申込書に記載されていない方は会員証や生涯研修手帳の手続きができませんので、お知らせ下さい。なお、会員証発効までには多少時間がかかりますこと、ご了承ください。

・23年度会費納入の締切りが過ぎていきますので、未納の方はお早めにお問い合わせください。

(235名の方が未納です)

編集後記

先月、職場の行事で中庭(ベランダ)に色々な種類の苗・種を植えました。ちょうど梅雨の時期でもあり、あまりお手入れしなくてもいいかな~とと思っていましたが、なかなか愛着がわいてきます。雨の日でも様子を見てみたり、雑草を抜いてみたり...。すくすくと育つ植物を愛でるといっても、心が落ち着きますね。...この調子で家の植物にも愛情を注げたらいいんですが。(岩)